

チームで奮闘！ 繁忙期レポート

vol. 68

2026.3.25
March

12月の繁忙期、各現場では目の前の作業に全力で向き合う日々が続きました。次々と押し寄せる波を乗り越えられたのは、個々の奮闘はもちろん、互いを支え合うチームワークがあったからこそ。今号では、激闘の舞台裏でスタッフが感じた達成感や、絆の物語をお届けします。



和泉EC物流センター

まつした ゆうこ
松下 裕子さん

一番の山場

12月に入り、大量の入荷とセット組作業に出荷数の多さが重なった時期です。

前年から工夫した点

情報共有と柔軟な応援体制

少ない人数で進める必要があり、一人ひとりが段取りを考えながら作業していました。また、作業の進み具合などについて情報を共有し、人手が足りないときは応援し合って乗り越えました。

印象に残った出来事

疲れていても光るチームワーク

担当エリアも含め、年末は予想以上の出荷数になりました。「疲れた表情をしていますが、淡々と作業をこなしていく和泉のチームワークはすごい！」とあらためて感じた年末でした。

新年度に向けて活かしたいこと

忙しいときこそ基本の手順を守り、普段と違う行動をしないように徹底します。2026年こそ誤出荷ゼロを目標に取り組みます。



あゆみ野EC物流センター

うえだ みつあき
上田 光明さん

一番の山場

12月上旬は担当エリアの出荷数が多く、ピッキングする品数も重さも桁違いだったため、さすがに走り回りました。このときは焦らず、品名や個数を間違えないよう注意しながら作業を行った記憶があります。すべての出荷作業を終えたときは達成感がありました。

前年から工夫した点

品物の補充や空き箱処理

最近ピッキング作業後にエリアの品物を確認し、空き箱の処理や在庫が少ない品物の補充などを行うことで次のピッキング作業に支障が出ないようにしています。

印象に残った出来事

笑顔の「お疲れ様」

ピッキングを終えた際、梱包を担当している方から笑顔で「お疲れ様」と声をかけてもらったことです。

新年度に向けて活かしたいこと

忙しいときも、初心に戻って正確に検品することです。

祝 新成人

決意と感謝の メッセージ



本社(田園)物流センター
すぎはら ひでき
杉原 秀樹さん

人生の大きな節目である成人式を迎えた杉原さん。仕事における具体的な目標から、プライベートでの挑戦、そして普段はなかなか言えない親御さんへの感謝の言葉まで、等身大のメッセージを届けます。

* 新成人としての抱負 *

言われる前に「行動する」

成人としての自覚を持ち、これからは言われる前に「行動する」ことを意識しながら会社に貢献していきたいと思っています。

* 20代のうちに挑戦したいこと *

社員としての自覚を持ち、「現場全体を把握」して進む

仕事では現在、フォークリフトでの作業やパートさんとの作業を通じて一緒に目標に向かって走っています。今後は社員として、「現場全体を把握」して作業を進めていきたいと考えています。プライベートでは自動車教習所に通っているため、車の運転免許を取れるように頑張ります。

感謝を 伝えたい人は…… 親

毎日のお弁当と 日頃の支えに感謝

社会人になってから、会社で難しい場面や大きな壁を越えなければいけない不安なときに、とても心配して話を聞いてくれました。そして毎朝お弁当も作ってくれていることにも、「いつもありがとう」と伝えたいと思います！一人の大人として、少しずつ親孝行していきたいと考えています。

Congratulations!

仕事の質を高める 現場の「工夫とコツ」

日々の業務において、皆さんはどのような工夫をされていますか？今回は、現場で実際に取り組まれている「仕事のコツ」や「こだわり」をご紹介します。

Interview 1

クール堺EC物流センター
にしかわ ともこ
西川 智子さん



工夫している作業

冷凍食品のシール貼り作業

……………具体的なコツと工夫……………

圧着と残数確認で貼り忘れ防止

貼り忘れを防ぐために、ピース数と同じ数のシールを用意します。シールは1シート10枚綴りですが、商品は物によって入り数が様々なため、シールと商品の数を区切りの良い数に合わせます。冷凍食品は、シールがくつきにくいいため、シールを貼る際に剥がれないように手のひらで圧着するのがポイントです。貼り終えたシール台紙に貼り残しがないかを確認。最後に自分自身と作業台の周りにもシールが付いていないかを確認してから、パレットに積みます。

……………仕事の変化……………

貼り忘れがあってもすぐに気づくことができ、効率よく作業ができるようになりました。

仕事へのこだわり

事前準備と都度確認の徹底

作業を始める前に、商品と同じシールを用意できているか、商品のピース数の確認と、シール枚数の確認を行います。また、貼り終えるたびに、貼り忘れがないかの確認をするようにしています。



Interview 2

和泉EC物流センター
さの
佐野 めぐみさん

工夫している作業

入荷時のミスを防ぐ

……………具体的なコツと工夫……………

写真ファイルで品番確認を確実に

入荷時に、商品と入荷リストの名前が合わないものや、似た品番の商品が複数あるお客様がいらっしゃいます。何度もお客様に問い合わせなければならず、よく似た商品との入荷間違いのミスが発生する可能性があります。同じ商品を何度も問い合わせることがないように、また似た品番の商品と間違えることがないように、品番確認をした商品は写真に撮り、印刷してファイルを作るようにしています。

……………仕事の変化……………

他の人が入荷をするときや品番が合っているか不安なときにはファイルで確認できるため、お客様に何度も確認いただくことなく、社内間違いなく入荷ができるようになりました。

問い合わせをする時間も減り、時間短縮にもなっていると思います。

仕事へのこだわり

配置とルーティンで正確性を維持

誤出荷しないように決められたチェック事項を守ることはもちろんですが、少しでも無駄な動きがないように、資材の置き場などを自分が作業しやすいように配置してから梱包に取り掛かります。また、梱包作業で自分なりのルーティンを決めて、いつもと違う流れで作業した場合、本当に間違えていないか再度確認するようにしています。

☆ 今だから言える! 若気の至り ☆

BUKKEN PROFIT BASE IZUMI

なかの えみ
中野 絵美さん

若気の至りだと感じる行動

似合うと思ってやった髪型

当時のエピソード

似合うはずがまさかの結果に

サッカー選手がやっていた髪型を自分もやったらどうなるのか？やってみたら、似合わなかった!(笑)

誰にでも、思い出すだけで顔が赤くなるような過去や、今だからこそ笑って話せる失敗談があるのではないのでしょうか。今回は3名の皆さんに、過去のエピソードとご自身へのメッセージを聞いてみました。



昔の自分への言葉

頭に爪楊枝刺されるから、その髪型やめといた方が良いでしょう!髪型は、シンプルが一番。

OH!

oops!

BUKKEN PROFIT BASE IZUMI

の ばた な お
農端 菜央さん

若気の至りだと感じる行動

詰め甘さゆえの誤出荷

当時のエピソード

「だろう」運転が招いたミス

前職での出来事で、連携を取っていれば起こらなかった、今でも心に残っているミスです。当時は事務所所属で、担当していたお客様のイレギュラー対応の出荷でした。「現場の方も指示書を読んでいるだろう」と思い込み、渡した送り状の貼り間違いで誤出荷が発生させてしまいました。



昔の自分への言葉

「大丈夫だろうで仕事してたら痛い目見るよ!」です。当時の私は「他の人も見てるやろうし」と考えており、詰めが甘かったと思います。現在は、同じ大丈夫でも「だろう」ではなく「自信を持った大丈夫」かつミスを防ぐための気配りを行えるように心がけています。



あゆみ野EC物流センター

さ かん みつ こ
左官 満子さん

若気の至りだと感じる行動

今振り返ると「よく着られるなあ」と思う服装でした。

当時のエピソード

友達と被る謎の現象

流行りの服装なのかわからないけど、友達と被ってしまうことがよくありました。

昔の自分への言葉

昔の自分へ。今の自分は子育ても卒業して、思う存分楽しい日々を過ごしてますよ。

☆ ☆ why? ☆